

情報連絡員総括表（2022年12月）

— 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 中央会・行政への要望
5. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

・本調査の見方・

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0(=横ばい)で推移
 ※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 (回答者数 58 名 : 回収率 96.7%)

○2022年12月のDI値は、前月との比較において、主要3指標である「売上高」「収益状況」「業界の景況」を含む7指標が改善。「在庫数量」「資金繰り」のみが悪化した。「売上高」15.5ポイントは、平成26年4月以降およそ9年間で最も高い値となった。「収益状況」の悪化など製造業において厳しい状況が続く一方、サービス業を中心に非製造業の改善が全体を引き上げた。

○「製造業」では、前月との比較において、「売上高」「業界の景況」を含む3指標が改善。「収益状況」を含む5指標が悪化した。原材料や光熱費の高騰、価格転嫁の難しさから収益の確保はますます厳しくなっており、「収益状況」は前年比マイナス46.7ポイントと前月を10.0ポイント下回った。

印刷・同関連業からは、「資材の値上げに対して価格転嫁を図っているが、熾烈な受注競争により簡単に値上げできない」とコメントが寄せられた。

○「非製造業」では、前月との比較において、「在庫数量」「取引条件」を除く6指標が改善した。街中や観光地にヒトが戻りつつあり、「業界の景況」は前月を22.8ポイント上回った。一方で、人手不足や人件費の増大、コロナ感染の再拡大などが懸念材料となっている。

宿泊業では、「全国旅行支援の効果で観光需要が好転した。半面、人手不足により売り止めをしなくてはならない状況も見られ、売上に影響を及ぼしている」とコメントが寄せられた。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2022年12月	15.5	20.9	36.2	-6.9	-25.9	-22.5	13.3	-3.4	-20.7
2022年11月	8.8	2.3	33.4	-7.0	-29.9	-19.3	0.0	-14.0	-33.4
増減	6.7 ↑	18.6 ↓	2.8 ↑	0.1 ↑	4.0 ↑	-3.2 ↓	13.3 ↑	10.6 ↑	12.7 ↑

2.項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減				
売上高	2022年12月	16.6	3.3	ポイント	↑	14.3	10.6	ポイント	↑	15.5	6.7	ポイント	↑
	2022年11月	13.3											
在庫数量	2022年12月	23.4	16.7	ポイント	↓	15.4	22.5	ポイント	↓	20.9	18.6	ポイント	↓
	2022年11月	6.7											
販売価格	2022年12月	26.6	-6.8	ポイント	↓	46.4	13.1	ポイント	↑	36.2	2.8	ポイント	↑
	2022年11月	33.4											
取引条件	2022年12月	-13.4	-0.1	ポイント	↓	0.0	0.0	ポイント	-	-6.9	0.1	ポイント	↑
	2022年11月	-13.3											
収益状況	2022年12月	-46.7	-10.0	ポイント	↓	-3.6	18.6	ポイント	↑	-25.9	4.0	ポイント	↑
	2022年11月	-36.7											
資金繰り	2022年12月	-26.7	-6.7	ポイント	↓	-17.8	0.7	ポイント	↑	-22.5	-3.2	ポイント	↓
	2022年11月	-20.0											
設備操業度	2022年12月	13.3	13.3	ポイント	↑					13.3	13.3	ポイント	↑
	2022年11月	0.0											
雇用人員	2022年12月	-6.7	0.0	ポイント	-	0.0	22.2	ポイント	↑	-3.4	10.6	ポイント	↑
	2022年11月	-6.7											
業界の景況	2022年12月	-26.7	3.3	ポイント	↑	-14.2	22.8	ポイント	↑	-20.7	12.7	ポイント	↑
	2022年11月	-30.0											

今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況	
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化
製造業	食料品	2	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0	2	1	1	0	1	0	2
	繊維工業	1	0	0	0	2	0	0	1	0	2	0	1	1	0	0	1	0	0
	木材・木製品	0	3	1	0	0	2	0	2	0	4	0	1	1	2	0	0	0	4
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1
	印刷	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	窯業・土石製品	0	1	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	鉄鋼・金属工業	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	0	2	0	1
	一般機器	2	1	1	0	1	0	0	0	0	3	0	1	2	0	0	0	0	2
	電気機器	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
	輸送用機器	3	2	2	1	1	0	0	1	2	2	0	1	3	0	2	1	2	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
非製造業	卸売業	0	2	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	X		0	0	0	2
	小売業	2	1	2	1	4	1	0	2	0	2	0	2			0	2	0	2
	商店街	1	2	1	0	3	0	0	0	1	1	0	2			0	0	1	2
	サービス業	3	0	X		2	0	1	0	3	0	1	0			2	0	3	0
	建設業	2	2			3	0	1	0	2	2	0	0			1	1	1	1
	運輸業	3	0	X		2	0	1	0	1	1	0	1			1	1	0	2

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の稼働において、ますますの電気料金値上げに収益を奪われ、運営の厳しさが増している。 ・新規取引先とのお取引が軌道に乗り売上高は増加しているが、電力・ガスといったインフラコストの上昇が著しく、コストを吸収できていない。この状況が続けば新たな設備投資はおろか既存施設の大型修繕などの費用が捻出できない。自力でできるコストダウンにも限界があり非常に苦しい状況である。
織物業	<ul style="list-style-type: none"> ・先月と同様、少し好転してきたか？ ゆかた地、正絹紬等の受注が少量ではあるが入っている。原材料の高騰、電気、その他諸費用も含め収益好転までは、なかなか難しい状況。
宗教用具	<ul style="list-style-type: none"> ・業界の景況は横ばい状態である。相変わらず材料等の高騰が続く状況のため、原価率が高く、多少の値上げをしたものの利益率は悪化している。
印刷	<ul style="list-style-type: none"> ・商業印刷の低迷は歯止めが利かない。将来なくなるのではとの懸念すらあるが、他分野への移行に厄介なハードルが立ちふさがっている。 ・コロナウイルスの影響で前年は売上が低調だったため、若干増加した程度ではコロナ以前の売上には届かない。すべての資材が値上がりしているため、利益率が下がっており、多少の売上増加では手放して喜ぶ事ができない。 ・資材の値上げに対して価格転嫁を図っているが、熾烈な受注競争により簡単に値上げできない。東部地区では観光関連の需要の戻りから、設備の稼働状況は好転しているが、一時的なものであると考えている。
骨材・石工品等	<ul style="list-style-type: none"> ・売上は不変の社が多く、在庫は増加の傾向である。コストアップにより収益は厳しい。
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料・エネルギーの高騰、不足による自動車業界の生産調整により、非常に厳しい状況。 ・コロナ融資の返済がもうすぐ終わるため、資金繰りの余裕がなくなった。業界の景気状況は取引先によってばらつきが大きく、景気が「良い」「悪い」というよりも、たまたま上手くいったけのような気がする。 ・諸物価の高騰
生産用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・材料費等全体的に値上げされているが、売価について改訂してもらえるところと、もらえない厳しいところがあり、収益については減少傾向にある。またコロナ感染の影響、人手不足などにより生産減少になっている。 ・複数の組合員において、未だに半導体絡みの一部部品に調達遅れが生じ、出荷できずに在庫負担が増大、売上計上できない状態を余儀なくされている。
電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの組合員が人手不足問題に苦慮している。 ・大型冷蔵庫は販売好調により、高水準の生産が継続している。 ・家庭用エアコンは寒さの到来と省エネ志向による需要拡大もあり、生産は好調に推移している。 ・業務用エアコンは国内向けと輸出向けが共に順調に推移している。
輸送用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・組合員企業における原材料等の値上げは概ね止まった状況であるが、依然として価格転嫁ができない組合員企業は収益を圧迫されている。 ・部品調達の影響による生産計画の変更は減少しており、比較的安定した生産ができるようになってきたが、半導体の安定調達にはまだまだ課題が残されており、次年度の経営計画が立てにくい状況にある。 ・半導体不足の影響が引き続き発生、令和5年前半も影響が続く見通しである。

非製造業

セメント卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・2割程度の大幅な出荷減少が続き、落込みに歯止めが掛からず厳しい状況となっている。仕入価格の値上げ交渉が激しく、一部メーカーは出荷停止も辞さない状況にある。
鮮魚小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・小売店の売上は前年を上回ったものの、内食から外食への需要の移行、物価上昇の影響、消費者の節約志向の強まりにより、コロナ前の水準には及ばなかった。業務卸の売上も法人客の回復が限定的で売上は伸び悩み、原材料等の価格上昇に伴い収益面も前年に比べ悪化した。

野菜・果実小売業	・12月前半は大きな動きはなかったが、終盤になって寒波の影響等で全体的に青果物の価格が上昇した。
各種商品小売業	・12月中旬に開催したクリスマスイベントは、買い物のお客様で賑わっていた。コロナの感染者数は増えているが、去年より人出は多い。お歳暮など客単価が増えている。24日のクリスマスには音楽イベントがあり、家族連れが立ち止まって聴いていた。「しずおか食ベトクキャンペーン」や旅行クーポンで飲食店も客足が戻りつつある。
	・久しぶりに行動制限のない年末年始を迎えた。昨年・一昨年に比べて賑わいは感じたが、あまり売上に結びつかなかった。
宿泊業	・全国旅行支援の効果で観光需要が好転した。半面、人手不足により売り止めをしなければならぬ状況も見られ、売上に影響を及ぼしている。また、各種エネルギーの高騰や原材料費の値上がりを経営を圧迫する状況となっている。
総合工事業	・12月は例年に比べて忙しいが、全体的な材料費の値上げと大工・左官・タイル職人の不足による人件費の増加が収益を圧迫している。
	・少しずつだが、仕入値が上がった分、受注額も上がってきている。ただし、中小物件の見直しや延期が増えているようにも思われる。
電気工事業	・資材調達に時間を要するため、工事期限に遅れが生じ、お客様に説明を求められる状況が続いている。
職別工事業	・前年同時期より若干の価格上昇と仕事量の確保が見られるが、来年に向けては各社様々で、取引先の受注量に偏りがある模様。受注単価は若干上がっては来ているものの、処遇改善に取り組んでおり、支払い労務費、施工費も併せて上昇傾向がみられる。まだまだ処遇改善に力を入れていく方向。
道路貨物運送業	・12月は月初から中旬までは荷物情報が昨年と比較し増加傾向で、特に中旬は荷物が集中したため、一部では運賃が上昇した。しかし、後半から年末にかけては減少傾向で、車両に空きがみられた。新型コロナウイルスの感染者が増加傾向であり、今後の景気動向が気がかりとなる。
道路旅客運送業	・11月の前年同月との運送収入における比較では上昇しているが、コロナ前の同月との比較では26%の減収。さらに、先月の減収率との比較では6ポイント悪化をしている。年間を通して一番の繁忙期である12月を迎え業況のさらなる回復が期待される場所であるが、コロナの感染が再び拡大傾向にあり大きな懸念材料となっている。引き続き様々な業況回復に向けた支援策に期待している。

4.中央会・行政への要望

金属製品製造業

- ・アフターコロナの情勢が少しずつ見えてくる中で、雇用調整助成金とは別に人材の流動化に対する助成金などの支援策が打ち出せないだろうか。

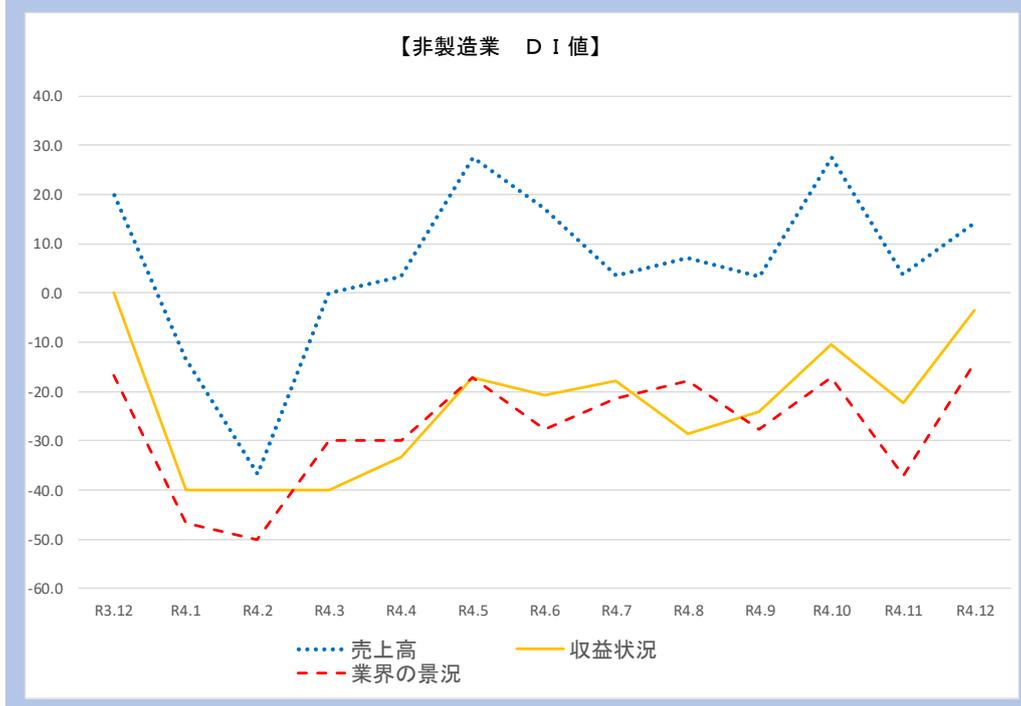
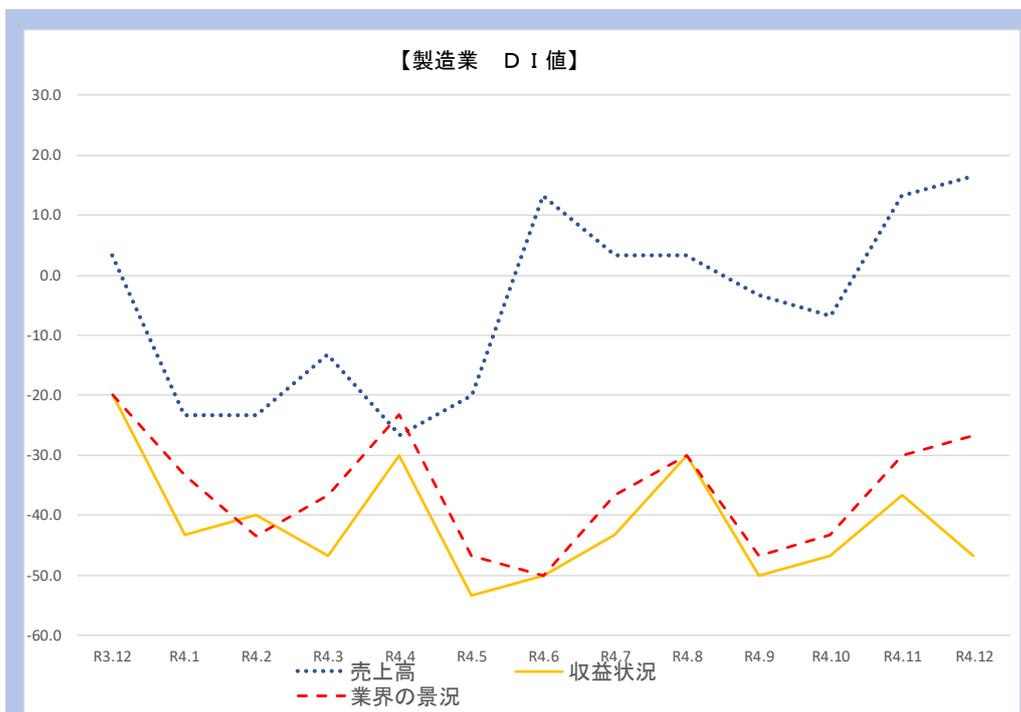
5.主要三指標における DI 値の推移

■2021年12月期～2022年12月期までの推移

全体	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12
売上高	11.7	-18.3	-30.0	-6.6	-11.7	3.4	15.3	3.5	5.2	0.0	10.2	8.8	15.5
収益状況	-10.0	-41.7	-40.0	-43.3	-31.7	-35.6	-35.5	-31.0	-29.3	-37.2	-28.9	-29.9	-25.9
業界の景況	-18.4	-40.0	-46.6	-33.4	-26.7	-32.2	-39.0	-29.3	-24.1	-37.3	-30.5	-33.4	-20.7

製造業	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12
売上高	3.3	-23.3	-23.4	-13.3	-26.6	-20.0	13.3	3.3	3.3	-3.3	-6.7	13.3	16.6
収益状況	-20.0	-43.3	-40.0	-46.7	-30.0	-53.4	-50.0	-43.3	-30.0	-50.0	-46.7	-36.7	-46.7
業界の景況	-20.0	-33.4	-43.4	-36.7	-23.3	-46.7	-50.0	-36.6	-30.0	-46.7	-43.3	-30.0	-26.7

非製造業	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12
売上高	20.0	-13.3	-36.7	0.0	3.3	27.6	17.3	3.5	7.1	3.4	27.6	3.7	14.3
収益状況	0.0	-40.0	-40.0	-40.0	-33.3	-17.2	-20.7	-17.8	-28.5	-24.2	-10.4	-22.2	-3.6
業界の景況	-16.6	-46.6	-50.0	-30.0	-30.0	-17.2	-27.6	-21.4	-17.8	-27.6	-17.2	-37.0	-14.2



■ 2021年12月期～2022年12月期までの推移

売上高	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12
製造業	3.3	-23.3	-23.4	-13.3	-26.6	-20.0	13.3	3.3	3.3	-3.3	-6.7	13.3	16.6
非製造業	20.0	-13.3	-36.7	0.0	3.3	27.6	17.3	3.5	7.1	3.4	27.6	3.7	14.3

収益状況	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12
製造業	-20.0	-43.3	-40.0	-46.7	-30.0	-53.4	-50.0	-43.3	-30.0	-50.0	-46.7	-36.7	-46.7
非製造業	0.0	-40.0	-40.0	-40.0	-33.3	-17.2	-20.7	-17.8	-28.5	-24.2	-10.4	-22.2	-3.6

業界の景況	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12
製造業	-20.0	-33.4	-43.4	-36.7	-23.3	-46.7	-50.0	-36.6	-30.0	-46.7	-43.3	-30.0	-26.7
非製造業	-16.6	-46.6	-50.0	-30.0	-30.0	-17.2	-27.6	-21.4	-17.8	-27.6	-17.2	-37.0	-14.2

